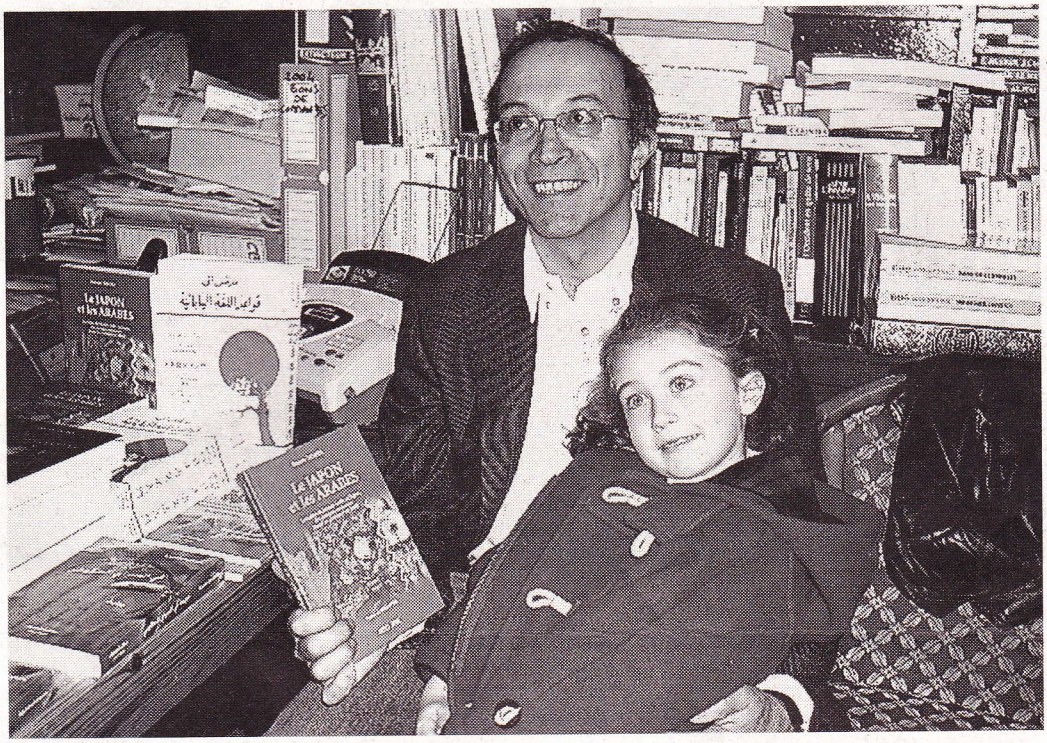
ルロス・ートの仏タヤラさルロス・けた論理あるよりオリエンてくる。道からオリことは至難

イルート出手者で、日る仏語の文社）を出ングゾー）マが明治の著）で、こ戦った革命、タヤラさ流史に向かと西欧の間が鮮明に描国の人によを書いたとするために0、3年目こうとに知ら

日本語習得への道



自著『日本とアラブ人』を手にしたタヤラさんとお嬢さん。机上には同氏のアラビア語圏向け日本語入門書と小説が

れるラングゾーの日本語科学生が覚えなくてはならない漢字の数である。タヤラさんによると、入学1日目で「あいうえお」2日目でカタカナの講義があり3日目からいきなり「山本さんは日本人です。毎日仕事に行きます」といった漢字かなまじりで授業が展開され、これに古文、漢文、文明史が加わる。仏国では運転免許教習所の授業もいきなり路上から始まるのを思い出した。

それほど濃密な授業を続けることが出来たのはひとえに先生の人柄がすぐれていたからだろうという。ちなみにタヤラさんが日本語学生として一番嬉しかったのは、夏目漱石の『こころ』を仏訳して先生から誉めてもらった時だそうである。

（ジャーナリスト）

ことば

「オリエント」は東を意味するが、あくまで西欧から見ての東側。仏語では近東が「プロッシュ・オリオン」で日本は「エクストレーム・オリオン」（極東）。77年に廃止されたオリエント特急はパリとイスタンブールを結ぶ国際列車であるが、「オリエント」の一言が、欧州連合のトルコ加盟を阻む人たちの反対理由にもなっている。

無心の時が静かに流れる。ちょうど同じ頃、山の向こう側では、小さなくまと母さんぐまが、これまた、こけももをせっせせっせと食

見てるとくるね。

日曜修 イラストとフレーズで日曜真

日曜日

苗、と、そ曲に占やCDは以前語は相「演芸の主役先日、「演芸

吉田 「いい映画